

東由利町報

№ 227の① 昭和50年(1975)10月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)和昭42年7月21日第3種郵便物認可

町の概況	
人口総数	6,614
うち男	3,243
うち女	3,371
世帯数	1,501
面積	148.51 ^{km}

秋田職安で求人
テレホンサービス
九月十六日から九月二十
六日まで秋田公共職業安
定所(電話一八八二二三
一七一九)で求人情報の
テレホンサービスが行わ
れています。
これによる希望職種が
ある場合は、直ちに所轄の
安に相談、確認する必要
があるとされています。

出かせぎと雇用保険
出かせぎにおける雇用保
険の受給権は、六カ月上
の稼働期間のあることが
原則(最低各月十一日以上の
四カ月前後各月)でそれぞ
れ十一日以上)です。注
意しましょう。

認識十分に、最善の対応を

厳しい今季の 出かせぎ情勢

町では、深刻な産業界の不況を重視し、出かせぎ予定の就労動向を把握するたため往復(ガキ)によるアンケート形式の調査を実施しました。調査の結果、対象には昨年度の出かせぎ者九百四十人を選び、次の三つのポイントで調査を行いました。一、就労先を決めたいという希望を寄せて二百人近い人たちが希望を別途にグループ就労のリーダーに提出してもらった求職希望職種などのリストを作成して職業安定所へ紹介あつせん方を要請しています。二、九月十八日には本荘公共職業安定所長を役場に招き、今季出かせぎの求人情勢や安全対策、雇用保険法などについて、この調査結果に基づき職業安定所の紹介で就労先を決めたいという希望を寄せて二百人近い人たちが希望を別途にグループ就労のリーダーに提出してもらった求職希望職種などのリストを作成して職業安定所へ紹介あつせん方を要請しています。三、九月十八日には本荘公共職業安定所長を役場に招き、今季出かせぎの求人情勢や安全対策、雇用保険法などについて、この調査結果に基づき職業安定所の紹介で就労先を決めたいという希望を寄せて二百人近い人たちが希望を別途にグループ就労のリーダーに提出してもらった求職希望職種などのリストを作成して職業安定所へ紹介あつせん方を要請しています。

求人 前年の四分の一

就労先七割が未決定



九月十日の指定期日まで寄せられたハガキ、および電話督促での回答は八百五十人(九四割)でその内訳は別図(一)のようになっています。別図(二)からもわかるように九月十日現在で就労先が決定している人は二百三十九人(三二割)に過ぎず、未決定(交渉中)という残る五百二十四人は例年のこの時期に比較しかなり多いものと見られています。

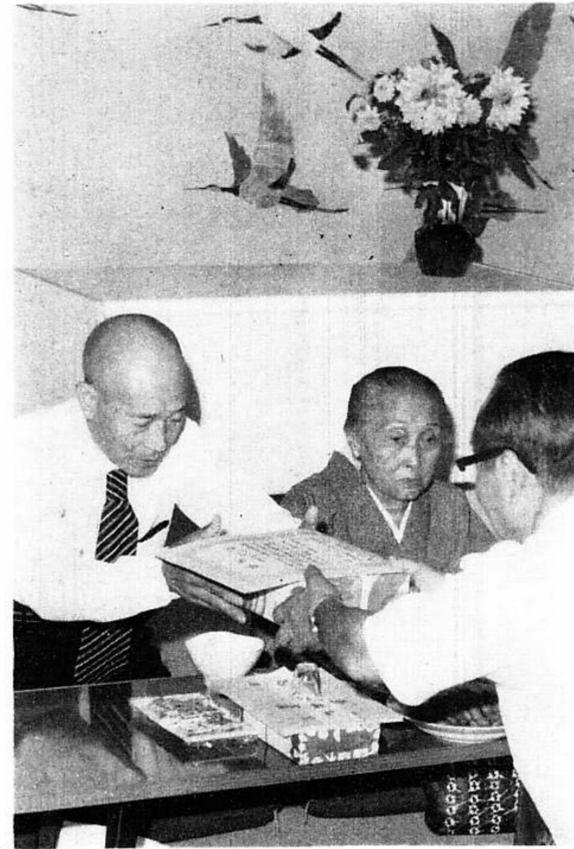
町では、この調査結果に基づき職業安定所の紹介で就労先を決めたいという希望を寄せて二百人近い人たちが希望を別途にグループ就労のリーダーに提出してもらった求職希望職種などのリストを作成して職業安定所へ紹介あつせん方を要請しています。二、九月十八日には本荘公共職業安定所長を役場に招き、今季出かせぎの求人情勢や安全対策、雇用保険法などについて、この調査結果に基づき職業安定所の紹介で就労先を決めたいという希望を寄せて二百人近い人たちが希望を別途にグループ就労のリーダーに提出してもらった求職希望職種などのリストを作成して職業安定所へ紹介あつせん方を要請しています。

児童手当 10月から五千元に

十八歳未満を頭に三人以上の児童がいる場合、第三子以降に支給される児童手当の額が今月から一人につき五千元に引き上げられました。昭和四十七年一月に同制度が発足して以来、年々支給対象児童の年令拡大や手当額の上昇が起きている。難かしい問題に直面するたびに自分の経験不足を痛感させられ皆様の長い人生経験にあやかりたいと思うことたびたびです。英語では「経験」に宝という解釈もあると言われますが、まさにそのとおりだと思います。七十年あるいは八十年という人生経験の宝を大切に、今後ますます長生きしてください。と長寿を称え、お祝いをのべました。

感謝とま心の敬老会

和気あいあいの中で
九月六日の蔵地区をトップに同十四日まで、敬老の日より一足早く町内七会場で地区婦人会員の接待により、敬老会が和気あいあいの中で行われました。



今年度の敬老会招待者(七十歳以上)は全町で四百三十七人で、各会場とも七割を超す出席者があり、和気あいまいの中で楽しい一日を過ごしました。また結婚後五十年を迎え、招待を受けて金婚のお祝いを迎えた夫婦に祝状と記念品、本年八十歳に達したお年寄りには額入りの記念の肖像写真がそれぞれ町より贈られ、県からは七十五歳以上の老人に敬老祝金が贈られました。また主催者を代表して町長(会場によっては助役、収入役あるいは教育長等)がお祝いの言葉をつけた民謡同好会員の伴奏にあわせて手拍子の歌が飛び出すなど、お年寄りにちには本当に楽しい一日となりました。

善意の輪 昨年以上に

赤い羽根募金運動 1日から



こうした人たちに少しでも多くの思いやりを届けようと国民一人ひとりがおとすのが「赤い羽根」で親しまれる共同募金運動で、今年も今日一日から始まります。この運動が全国一斉の国民運動となつてから今年で二十九回にあたり金目録にしています。昨年度にこの運動を通じて寄せられた善意は全国で九十億四千万円余りとなり、このうち八千八百万円近くが全国一億八千八百万円の福祉施設

が設定した目標額の百二十一割という好成績を納め、その配分金は長期療養者への見舞いや歳末助け合い運動に合わせたいやい家庭への援助などに役立てられています。本年度の本町の目標額は四十二万八千七百円であり、町

協力第一号 二万円

組織が崩壊、二二歳年有名無実の状態が続いていた老方青年会が組織の再興をのぞむ有志青年たちによって「赤い羽根チャリティコンサート」を開催、ますますの成果をあげました。老方小学校での同コンサートは、地元会員によるフォークグループの演奏のほか、会

しあわせでありたい、と願う心は誰もが同じですが、世の中には身体の不自由な人やひとり暮らしのお年寄りなどのように、自分の力だけではそれを果たせない人々も多勢います。

今年度は全国一斉の国民運動となつてから今年で二十九回にあたり金目録にしています。昨年度にこの運動を通じて寄せられた善意は全国で九十億四千万円余りとなり、このうち八千八百万円近くが全国一億八千八百万円の福祉施設



小松会長に益金を手渡す代表たち
組織が崩壊、二二歳年有名無実の状態が続いていた老方青年会が組織の再興をのぞむ有志青年たちによって「赤い羽根チャリティコンサート」を開催、ますますの成果をあげました。老方小学校での同コンサートは、地元会員によるフォークグループの演奏のほか、会

平均年齢二十一歳、若さで行動力を駆使しての青年駅伝大会への参加や地区盆踊りの企画と実施など、地域に密着した活動に取り組む始めた再興の老方青年会の今後の活躍に各方面から大きな期待が寄せられています。

無火災記録の更新
無火災の記録更新が続いています。昨年六月二十一日の松台の火災から今日で四百六十六日目、来月三日には待望の五百日が樹立される見込みです。朝夕の冷え込みとともに暖房など火気の使用が多くなり、器具の点検、使用方法などに十分に注意し無火災の記録を更新し続けましょう。

無火災記録の更新
無火災の記録更新が続いています。昨年六月二十一日の松台の火災から今日で四百六十六日目、来月三日には待望の五百日が樹立される見込みです。朝夕の冷え込みとともに暖房など火気の使用が多くなり、器具の点検、使用方法などに十分に注意し無火災の記録を更新し続けましょう。

「社協」の法人化実現

期待される自主活動

住民主体の福祉活動を展開しやすくし、事業の純粋性と公共性の確立等をねらい、進められていた、町社会福祉協議会(小松栄男会長)の法人組織への移行が八月二十一日付の登記完了をもって実現しました。

同日をもって町社会福祉協議会(小松栄男会長)の法人組織への移行が八月二十一日付の登記完了をもって実現しました。

同日をもって町社会福祉協議会(小松栄男会長)の法人組織への移行が八月二十一日付の登記完了をもって実現しました。



8月31日の町民運動会リレー競技の一コマ

スポーツの秋

読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋。とまたとえられるように、さわやかなこの季節は、人間生活のすべてに最も快適な気候です。

今月十日の「体育の日」は、こうした季節をねらって設けられた国民の祝日であり、野山に思いっきり身体を動かして、スポーツに親しんで体力づくりに励みたいものです。



日曜日早朝の清掃作業風景

「継続活動」手本に

防火啓蒙や道路清掃

家ノ下 子供会

町社会福祉協議会は、これまで町補助金や篤志寄付、共同募金の配分金等を主財源にしてきましたが、今後は団体費を納入してもらい、それを基本財産や主財源にする必要があるため、各世帯から近く会費(当年度は一世帯あたり百円)を納入してもらおうと計画しています。

住民福祉を高めるための根幹には、住民自らが自らの幸せづくりのため自主的活動を行うことにあると語られています。町民の総意が最も反映されやすく、心のよりどころになれる組織(団体)にしたいと、抱負を語った小松栄男町社会福祉協議会会長は、町民から大きな期待が寄せられています。

全県で952集落

—集落農場化—

六月号および八月号で二回にわたり集落農場化事業を取りあげ、そのねらいや背景、内容等を紹介しましたが、今号では事業の進め方などを取りあげ、まとめとします。

積極的な意欲と研究

成功へのカギ

集落農場化事業は、新しいタイプの生産組織をつくり、農業経営の安定化をめざすものだと前号で述べましたが、新しいタイプの生産組織は一朝にしてできるものではありません。

県では、新タイプの生産組織つまり集落農場化を実施するにあたり、まず、推進集落を指定、二年間にわたって活動費を助成しながら内部を整成させることにしています。

すなわち、町村の申請に基づいて当該集落内に二名の推進員を委嘱、この人たちが軸になり、同事業の普及と啓蒙に努め、関係農家の話し合いによって自主的な農業の近代化計画を樹立させ、その可否に検討を加えながら軌道布設を行うというものです。

8 集落が事業実施 推進集落が即事業実施集落

とあることも可能で、石高地区などを含む本町の十二集落(本年度に四集落増)のうち八集落が推進集落であり事業の実施集落となっていました。

集落農場化のこうした推進を加速させ、本年度で九百五十二集落(全県)となり、それぞれ活発な自主活動を展開、事業実施集落も三百五を数え地域の向上と経営の近代化に大きな実績をあげて来ていると言われます。



仕事に誇りと自負

新事務所への移転心待ち

白銀も黄金も玉も何せむにまされる宝、子にしかめやも。

古来、社会の宝とされる子供たちの教育について、方針を定めその条件整備と向上にあたる一方、幼児から老人にいたる幅広い階層に自己を高める学習の機会と場を提供する社会教育を担当しているのが独立した行政機関の教育委員会。

事務局は学校教育係と社会教育係に大別され、一方が教育長を中心に委員会の方針に基づいて学校の管理運営と教職員人事、スクールバスの運行等を担当、他方が公民館長、小松文治、後列右から小松松也、佐藤孝一郎、島山基保、佐藤社会教育指導員(〇印係長)。

校教育係が玉米小体育館や蔵小特別教室の建設、老小体育館の床張り替えなど教育施設の条件整備、社会教育係が公民館建設などを担当しています。

とりわけ、近年とみに重要視されて来た生涯教育を含む社会教育の普遍的な普及充実

こんには教育委員会です

町社会福祉協議会、これまでも町補助金や篤志寄付、共同募金の配分金等を主財源にしてきましたが、今後は団体費を納入してもらい、それを基本財産や主財源にする必要があるため、各世帯から近く会費(当年度は一世帯あたり百円)を納入してもらおうと計画しています。

住民福祉を高めるための根幹には、住民自らが自らの幸せづくりのため自主的活動を行うことにあると語られています。町民の総意が最も反映されやすく、心のよりどころになれる組織(団体)にしたいと、抱負を語った小松栄男町社会福祉協議会会長は、町民から大きな期待が寄せられています。



団旗と認定証の交付を受ける老小代表

三ノツ少年団誕生

住吉・老方・蔵地区に

先般町内に三つのスポーツ少年団が誕生、八月三十一日、表着に佐藤教育委員長から団旗と認定証が交付されました。

スポーツ少年団は、少年たちがスポーツを通じて心身のたくましくすることを目的に、少年たちやその父兄たちの自発的な希望に基づいて結成されることになっていますが、本町では今回が初の結成でもあったことから、三小学校でそれぞれ小学校単位に希望児童を募って結成されたものと見られます。

今回団旗等が交付されたのは野球と卓球の複合種目を取り入れた住吉小および老方小のスポーツ少年団と蔵小の柔道部です。

柔道部は、野田部地の一角(阿部幸悦さん所有)約一畝の斜面をPTA会員が総出で切り開いたもので、北斜面という好条件に加わって主要地方道野田地内から徒歩五分という便利な条件にあります。

ミニながら最頂部からだと三百メートルと見られ、雪国の子は雪に親しみ、強くたくましく育つという当部長の願いに十分応えられそうな規模になっています。

猛暑の中、刈り払いの作業にあたったPTA会員たちは、蔵小のみならず、町民みんなにも利用してもらいたい、と自分たちで開設したミニスキー場に大きな夢を託しています。

年金通信

国民年金の老令年金や通算老令年金などをうけることのできる人が、実際に年金の支払いをうけるためには「裁定請求」を行うだけでなく、その人が引き続き年金をうける資格があることを確認する必要があります。

国民年金の老令年金や通算老令年金などをうけることのできる人が、実際に年金の支払いをうけるためには「裁定請求」を行うだけでなく、その人が引き続き年金をうける資格があることを確認する必要があります。

国民年金の届出一覧

国民年金の届出は、該当事由が生じたら速やかに行うことが大切です。用紙等は役場年金担当係(窓口⑥番)に準備してありますので必要に応じて係に相談するようお願いいたします。

慶弔だより

8月26日・9月23日

〇誕生 おめでとう

小野 崇 玉新田 進 二男

遠藤智里 新旭 熊雄 長女

小野賀奈子 寺田 泰宣 長女

工藤福子 蔵新田 保春 三女

佐々木俊 中通 恒悦 二男

結婚 おしあわせに

〇結婚 おしあわせに

小野 賢 須郷 田

木島 ミツ子 岩 館 田

阿部 美代 勉 横 崎

大藤 福雄 一 祝 新 沢 町

遠藤 寿子 祝 新 沢 町

〇お悔み申上げます

太田 太市郎 蔵 67歳

遠藤 タケヲ 家ノ下 72歳

東由利町報

No. 227の② 昭和50年(1975) 10月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK 本間印刷所
 毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

議会関係は次号で
 九月定例議会は九月三十日召集され、補正予算など八案件が審議されましたが、その概要は次号でお知らせします。

〜タコ揚げによる感電事故防止を
 県外でタコ揚げによる感電事故が頻発しています。架線のある近くでのタコ揚げは行わないよう注意がのぞまれています。

沿道の声援多く盛會に

少い一般の参加に残念がる声も

町教育委員会と町体育協会が主催した第三回全町マラソン大会は、横渡し役場間四のコースに小・中学生・一般など総勢四百三十名が参加して盛會をきわめました。



走りつた佐々木百合さん(11歳)と5年生の木々

すすきがそよぐ秋空の下、元氣いっぱいに走る参加者たちには沿道から盛んな声援が送られ、前二回の大会より数段の盛り上がりを感じました。しかし、一般の参加者が主催側の予想の十分の一、三人というさびしきで、大会はもつぱら小中学生大会の感があらず、声援を送り続けた人たちから残念がる声もあがっていました。

町交通指導車や本荘警察署のミニバトの先導で一般は横渡地内から四、中学男子は蔵永慶保育園前から三、五、

第3回全町マラソン大会

430人全員が完走



初秋の日差しをうけて国道島地内を、快走する中学男子の一群

福寿会(黒淵) 知事表彰

法内阿部さんは由利福祉部会で

が閉じられました。今大会は、一般の参加者が予想外に少い結果に終り、開催時期・企画のPR・運営等全般について主催側に大きな反省を求める結果にもなりました。とはいえ反面で、四年生ながら五年女子の部に特別参加した宿小の佐々木百合さん(輝男さん長女)が町内六小の五年女子のトップにたつてゴールインするなど、本町陸上界の新しい芽が着々育っていることを感じさせられる大会でもありました。

老人福祉月間の九月は全国各地で各種の敬老行事が開催されましたが、日常の「生きがい活動」などに顕著な成績をあげた本町黒淵地区の老人クラブ福寿会が県知事および由利社会福祉協議会老人福祉部会長から、法内地区老人クラブ生寿会の阿部祐次郎会長も同部会長から表彰をうけるなど朗報が相次ぎ、お年寄りたちを喜ばせています。

九月五日、大内町で開催された本荘市由利郡老人クラブ指導者研究会の席上、長年にわたって老人クラブ会長の職にあり地域の老人福祉の向上に貢献された阿部祐次郎さん(法内生寿会々長)と、老人

要望などこの機会に

13・16日巡回行政相談日

十月十二日から十八日まで行政管理局の行政相談週間(思給や年金、道路・河川・提防あるいは出かせぎ、悪臭公害に関する事など何でも)について困っていること、納得のいかないこと、希望することなどがある場合は、この機会に気軽に相談されるようのぞまれています。なお、相談日以外でも本町

「ころぼっくる」は交通安全で受彰

秋田県民会館で開催された県の敬老式典でも、日頃の活動ぶりが認められ知事表彰に輝くなど朗報が相次ぎ、老人たちは新たな意欲に燃えています。

「ころぼっくる」は、浅田竹広代表が、このほど本荘警察署長と本荘地区交通安全協会長から事故防止に貢献したとして表彰されました。

同組織は、これを契機にボランティア活動を一層高めて行きたいとしています。

電話加入数 1,541台に

次のとおり電話の新設と変更があり本町の電話加入数は一千五百四十一台になりました。

【普通電話】▼阿部直美(野田) 三三三〇
 ▼阿部長悦(同) 七三五
 ▼島山庄一(新町) 二四五七
 ▼高橋敏憲(下通) 二四六五
 ▼佐藤吉雄(中通) 三五〇六
 ▼老方集会所(上通) 三五〇五
 ▼赤坂(同) 三五〇七
 ▼斎藤幸益(島) 三五〇九
 ▼田代福祉館、変更三五〇八。

治郎(八日町) 二三七五
 ▼高橋敏憲(下通) 二四六五
 ▼佐藤吉雄(中通) 三五〇六
 ▼老方集会所(上通) 三五〇五
 ▼赤坂(同) 三五〇七
 ▼斎藤幸益(島) 三五〇九
 ▼田代福祉館、変更三五〇八。

献血実績、目標の五割増

積極協力に大きな感謝

● 八月二十六日、町内四カ所で行われた本年度二回目のあかつき号による献血の受けつけが行われ、前回は大幅に上まわる百十三名から協力があがり前回とあわせて本町の実績は百八十五本となり、県の期待目標百二十本に対して実に一五四本という好成績になり、関係方面から高く評価されています。

特に今回は献血グループによる協力が圧倒的で、尊く美しい人間愛が各グループ内部で着実に醸成されつつあることを物語るものとも見られています。

各受付場所での献血者は次のとおり。

【大琴診療所前】小野実・浅田誠・佐々木日出夫・佐々木精喜・高橋政一・佐々木重美・石綿国雄・梅津栄一・武田玲子・長谷山美和子・小野忠

【蔵小学校前】畑山昇三・阿部幹夫・遠藤キヨ子・太田行

【役場前】高橋慶一・小野トモ子・小松エス・遠藤正一・小松和・鈴木博・小野暢子・菊地サキ・菊地正子・安倍貞



サクラほころぶ

九月の半ば、大琴地内の国道沿いの一本のサクラが花をほころばせ(写真)道行く人たちの関心を引きまわした。

このサクラの木は、昭和二十九年の大琴大火のあとに部落民によって植えられた樹令十四、五年の若木で、爛漫の春には及ばないながらも四五本程度の房状に見事な花をつけたもので、中には節はず

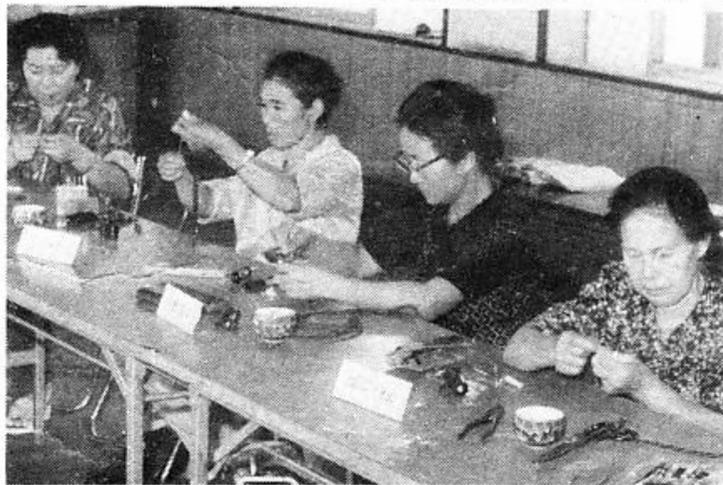
今日は火力発電所見学

好評の「婦人電気教室」

東北電力(株)と町公民館が共催で開講している本年度の婦人電気教室は好評のうちに、九月で四回目を終了、東北電力技師の親切な指導のもとに

基礎理論からヒューズの取りかえやコードの結び方など実技面へ進み、メキメキ腕を上げています。

東北電力の秋田火力発電所見学が予定され、二十一名の受講生たちは今から楽しみにしています。



慣れない手つきで熱心に実技に取り組む婦人たち

凶器犯罪の防止を

今月「一斉集中取り締り」実施

最近凶器を使った暴力団等の犯罪が増していることから本庄警察署では今月いっぱい「凶器の一斉集中取り締り期間」に定め、凶器の追放運動を展開することになり、次の点について全町民の注意と協力をのぞんでいます。

①銃砲や刀剣および火薬類は定められた方法で保管を確保

②ナイフや包丁など凶器になる刃物をみだりに持ち歩かない。

③鉄パイプや建設資材が犯罪に使われないよう保管を適正に行う。など。

一、七〇〇円まで非課税

料理飲食税 軽減

今月一日より料理飲食等消費税の免税点が引き上げられ

受付10月8日から

海上保安学校等で学生募集

海上保安学校、同大学の学生を募集しています。

受験資格は昭和27年4月2日以降生まれの男子で次の一に該当する者となっています。

① 高等学校卒業または五十一一年三月卒業見込者

② 高等専門学校三学年修了か修了見込みの者。

③ 大学入学資格検定に合格したもの。

【受付期間】 50年10月8日から10月28日まで。

【問い合わせ】 塩釜市貞山通三十四ー一、第二管区海上保安本部。

【特典】 在学中給料、被服を支給、授業料不要。

施設と撤去確実に

鳥害防止に用いられているフラッシュテープは、通電性が高いため、配電線にからまるとショートやアースなどの原因となり思いがけない停電や感電事故に結びついています。

同テープを使用している農家は施設を完全に風などで飛ばないよう配慮するとともに使用済の場合は確実に撤去するよう求められています。

飲食店等での飲食に伴う税負担が軽減されました。

飲食店等での飲食の免税限度額は一人一回千七百円までであり、旅館における宿泊およびこれに伴う飲食は一人一泊三千四百円までとなりました。